

学校情報・生活情報・勉強情報満載！



あむーる

島根県立松江北高等学校14R学級通信 第3号

No.3



学校は勉強しに来る所ではない！



□皆さんは学校に何のために来ていますか？「勉強するため」ですか？僕はそうは思いません。学校っていうのは、**勉強する方法**を教わりに来る所で、**勉強を教わりに来る所ではない**と思うのです。学校を卒業したら勉強が終わりなんじゃない、本当の勉強は学校を卒業してから始まるんです(英語の「卒業式」は**commencement**(始まり)と言うことをご存じですか?)。学ぶのは自分で学ぶんです。学校は自分で勉強するための方法を教わりに来る所なんです、とさだまさしが言っています。zzzzz

□食べる物がなくて困っている人に、**魚を恵んであげる**のはあまり良い助け方ではないと思います。**魚釣りの方法**を教えてあげるのがずっと良い助け方です。もっといいのは**釣り針の作り方**を教えてあげておけば、後で随分と重宝するはずですね。zzzzz

□次は中国の昔話です。
兄弟でロバを引いて歩いていたら、「無駄なことをしている」と言われたので、兄が乗ることにした。しばらくして行き違った人から、「あの兄は年少者に対する愛情がない」と非難されたので、遠慮する弟を無理に馬上に押し上げたら「礼儀を知らない弟だ」とまた人から叱られた。それではと、二人で仲良く乗ったら、今度は「動物虐待だ」と騒がれたので、仕方なしに二人でロバをかついで帰ってきた。

さて、この兄弟はなぜこのような無駄な骨折りを続けなければならなかったのでしょうか？答えは至極簡単です。この兄弟はロバを利用するのか、ロバを愛するのか、礼儀を守ることを主とするのか、年少者をいたわることを主とするのか、要するに**目的が確立していなかった**のです。目的(目標)さえちゃんとしていればこのように個々の状況判断において右往左往してあわてふためくことはなくなるはず。皆さんの人生も同様です。人生は右往左往しているほど長くはないのです。目標を持って高校生活をおくってください。zzzzz

□目標を立てるのにもコツがあります。一日単位、長くとも一週間単位での**目標(行動テーマ)設定が非常に効果的**です。それは長時間のテーマ設定に比べて、アクセルを一、二度踏むだけで、初期の決意を達成しうるからです。

さてこのことは、一つの素晴らしい示唆を含んでいます。いかに長大な目標であれ、それを細分化して、一日で、あるいは**15分で小目標(これを実行目標と言う)**をこなしていさえすれば、ついには、**信じられなかった程長大な目標もわけなく達成できる**、ということです。この**15分**を利用するというのは、私が『ニュートン』編集長東大名誉教授故**竹内均**先生から直接聞いて実践している秘訣です。zzzzz

□「やわらちゃん」こと谷 亮子さんの前の時代に「女三四郎」というニックネームで女子柔道界で大活躍した山口香さんの講演を聞いたことがあります。彼女は自分の経験に照らして、ただ頑張るだけではダメだと言う。「大きな目標」と「小さな目標」が必要だと言う。大きな目標とは例えば、「〇〇大学に合格する」とか「〇〇大会に優勝する」といった自分の最終目標のこと。そこで、それを実現するために小さな目標の登場だ。それもできたかできなかったかはっきりと診断できるものを立てることが**重要だ**と強調された。「教科書の〇ページから〇ページまでをしっかりと読む」「授業で使っている問題集の〇番から〇番までをしっかりと解く」「課題テストで使っている参考書の暗唱例文を10個覚える」といった**具体的目標**でなければならないのだ。これがまず第1の重要なポイント。

そこで、それをやろうとすると必ずつまづく、たいぎになる。そこで山口さんは言います。「人間の差というものは、**限界に来たところづくもの**だ。これが大切な2点目。君たちの夜の勉強のことを考えるとよく分かる。勉強していると11時頃必ず一度は**睡魔が襲ってくる**。凡人は「ま、いいか」とそこでたいぎになってやめてしまう。ところが、強い意思でその時間を乗り切った人はもう全然眠くならず、いくらでも勉強できるという経験があるでしょう。山口さんは「**目標達成に楽な道はありません。でも遠回りがあります**」と言われた。ピントはずれのことをいくらやっても力がつくものではない。じゃあどうすればいいか。やはり突き詰めて考えると、行き着くところは「**授業**」である。**1時間1時間の授業を集中して聞き、分からない所をできるだけ残さないようにひたむきに取り組む**、ことしかないので。『自分で勝とう』と思う気持ちが全ての基本である」と山口さんは言われた。勝つためには本気で何をやればいいのか、各自で考えてみて欲しい。

僕はふと京セラの**稲盛和夫**会長の言葉を思い出した。

人生の結果 = (考え方) × (情熱) × (能力)

能力が一番最後にあり、しかも掛け算(どれかがゼロだと全てがゼロ。他がいくら優れていても一つがマイナスだと結果もマイナス)であるところが重要だと思う。北高生は能力も情熱も持っている人は多いでしょう。でも、考え方を間違えると残念な結果に終わってしまう。今までそういう生徒をたくさん見てきました。このことは僕の大好きな野

FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF

■右の歌は僕が最も大好きな「主人公」というさだまさしの歌です。ファンの間でも常にダントツの一位を取る歌です。この二番の歌詞に注目してください。機会があれば曲を聴いてみて下さい。「風に立つライオン」と「まほろば」に「驛」を加えたこの四曲が僕の選ぶ彼のベストフォーです。六月には新しいアルバム「さだシテイ」が発売になります。

さて、このたび彼のステージブック『本をまとめた『さだのはなし』』(自由国民社、1500円)という本が出版になりました。コンサートで話した心に沁みる話が活字化されたものです。珍しい歌手です。「歌はCDで聴くから、話をして！」というリクエストが多いのです。ユーキャンからは彼のコンサートで録音した話がCD化されて発売されています。高校、大学(國學院大學中退)と落語研究会で活躍していただだけにツボを押さえた話は人気があるのです。そんな彼ももう58歳。小田和正さんの64歳を目指して頑張っています。zzzzz

主人公
作詞・作曲 さだまさ

時には思い出ゆきの ガイドブックにまかせ
「あの頃」という名の 駅で下りて 「普通
り」を歩くいつものテラスには まだ時の名
残が少し
地下鉄の駅の前には 「3番」のバス
プラタナス並木の 古い広場と学生だらけの
街
そういえば あなたの服の模様さえ覚えてる
あなたの眩しい笑顔と 友達の笑い声に
抱かれて 私はいつでも 必ずきらめいてい
た

「あるいは」「もしも」だなんて あなたは
嫌ったけど
時を遡る切符があれば 欲しくなる時がある
あそここの分かれ道で 選り直せるならって
勿論今の私を悲しむつもりはない
確かに自分で選んだ以上 精一杯生きる
そうでなきゃ あなたにとってもとてもはずか